

実 績 報 告 書

1 事業者名	NP0 法人マナビエル
2 事業名	お笑い芸人と挑戦!区長と「すぎなみ子議会」 ～ラフサクブン夏の特別編～
3 実施期間	令和6年8月27日～令和6年8月28日
4 実施場所等	杉並区役所 第3・4委員会室
5 対象年齢・ 参加人数	参加人数 17 名（小4: 8 人, 小5: 7 人, 小6: 2 人） 申込人数 18 名
6 参加費	有料（500円）
7 内容	「作文」がことばで自分を伝える場であることを知り、苦手意識を減らすことを目的に、「ラフサクブン」と題したワークショップを実施した。お笑い芸人である佐藤ピリオド.氏をお迎えし、参加者は自由で多様な表現を楽しんだ。また岸本区長をお迎えし、グループで生まれたアイデアをもとに対話にチャレンジをした。 ●事業実施準備開始日 4月26日（補助金交付決定通知を受理） ●企画ミーティング（スタッフ5名+芸人講師1名が参加） 6/4, 6/18, 7/5, 7/29, 8/22, 8/30（全6回） ●プログラム 「環境問題」をテーマに2日間に分けてワークショップを開催した。 1日目は吉本芸人佐藤ピリオド.氏をゲストに、視点を広げ自分を豊かに言語化するワークを実施。 2日目では岸本区長をゲストに、自分の意見を持ち寄り対話と協働を学ぶワークを実施。 【1日目】 ①やわらかあたまワーク ・杉並や世界の環境問題の現状についてクイズを通して楽しく知る ・お笑い芸人と柔軟でラフな発想を広げる ・環境に良くないとわかっているけれどついやってしまう日常の行為を掘り起こして懺悔する（環境ザンゲ） ②空色ことばワーク ・環境ザンゲで出てきた内容からグループで取り組みたい環境問題を一つ選び、解決策をラフに考える

	・質問の書かれたカードを使って視点を広げ意見を出し合う ③ラフワーク ・グループで出てきた意見を自分たちらしく言語化する ・解決策にはラフな（笑える）視点を取り入れる 【2日目】 ①ラフワーク ・オリジナルワークシートを使って発表する内容をグループで考える ・伝えたいことをセリフに変えて文章にし整える ②区長と対話「すぎなみ子議会」開催 ・自分たちの考えを伝え、区長と対話を実践する ③リフレクション ・対話を通して自分が取り組みたい内容をフリップに記入する ・参加者全員でフリップを見せ自分の意見を伝え合う ●事業終了後 事業の様子をまとめた動画を作成し、ホームページやSNS、YouTubeに掲載した。J:COMで当日の様子を放映して頂いたことで、より多くの地域住民に活動を発信することができた。
8 効果	【1日目】 参加した子供たちは、自分ごととして捉えづらい環境問題を身近に捉え、正解のない問いに対し芸人との掛け合いを通して前向きに考えることができた。また、もっと面白く楽しく環境問題に向き合いたくなる策はないかと、枠にとらわれない自由な発想や表現を楽しみ、視点を広げられた。 子どもたちは「これもいいの?」「こんなことできるのかな」と思考をめぐらせ、感情や意見を丁寧に言語化する作業を熱心に重ねた。それにより目に見えない心や頭の中、価値観、想像などが見える化でき、自分をことばにすることに少しずつ自信を持てる様子が見られた。対話によって生まれる創造や空想を楽しみながら言語化することができた。 【2日目】 岸本区長との対話では、子どもたちから生まれた斬新でユーモア溢れるアイデアを伝えられた。子どもたちは、区長に興味を持ってもらい、受け入れられるという経験ができたことに自信を持てた様子だった。自分らしい言葉で伝えることやコミュニケーションをとることに楽しさと喜びを体感できた。また、グループ内で一人一人役割を持って発表することにより、子どもたちがそれぞれの強みを発揮しあう協働の心と、伝えたいと思える原動力や前向きな姿勢を見せてくれた。他のチームの発表を受け、同じ出発点や目的の中で様々な表現が生まれることも感じら

れた。区長との対話は、緊張しながらも笑顔や発言が絶えず、最後は達成感のあるスッキリした表情と笑顔が印象的だった。

○補足

オリジナルワークは作文を書くときの順番になっており、自然と作文のコツを学ぶことのできる進行デザインとした。最後にそれを種明かしとして伝えたところ、子どもたちも「そうか!」と納得した表情を見せてくれた。

【全体を通して】

このワークショップは、作文の固定観念や苦手意識をなくし、ことばで自分を伝えることの大切さと、楽しさを知ってもらいたいという思いから企画した。ネガティブな印象の「作文」において「楽しさ」をプラスするために、お笑い芸人さんの力が大きく、子どもたちが前半から笑い声であふれ、発言が増え、それぞれが持つ言葉の表現に否定する人はなく安心安全な表現の場が創れたと感じている。

また、「次もできそうだ。」「自分の思ったことを書けばいいのか!」と思う子を増やし応援したいという弊団体のねらいにも、子どもたちの反応の良さや前向きに取り組む様子からも手ごたえを感じた。あわせて、以下のアンケートからも当初の目的は達成できたと考えている。

【参加者アンケートより抜粋】

- ・ラフサクブンで作文を書くのは楽しかった
- ・意外と作文を書くのも悪くなかったです
- ・1日目ざんげで自然に良くないことをたくさんしていることが分かりました
- ・私は作文がきらいなのですがラフサクブンは楽しくできたので良かったです
- ・楽しいことが作文だなんて感じた
- ・自分がこんなに書けることをしれた
- ・楽な気持ちになった
- ・もっと作文が好きになりました
- ・チームといっしょに話しあいながら、いろいろなことが分かって楽しかった
- ・いつもできないことができてうれしかった
- ・みんなで話し合ったりアイデアを出し合ったりしていると、みんなの考えが知れたり、おもしろかったりして楽しかった
- ・みんないろいろな考えがあって、いい考えもあって、自分の考えを見直してもっといい考えにできたりしてとてもよかった
- ・楽しく「ラフ」に環境問題について考えられました!
- ・作文は自分の考えたことを自由に書けばいいことがわかった
- ・区長さんと話したときに「もっとききたい!」と思いました
- ・話すことって楽しいと思いました

	・環境のことをいっぱい考えたくなりました ・環境のことを考えるのが好きになった ・区長と話しているときは少しドキドキしていたけど楽しかったです ・自分の意見を発信するのはいいことだと思った ・最初は緊張したけど岸本さんと話す時はラフにいけてよかったです ・自分の意見を言えることがとてもうれしかったです
--	---

収 支 決 算 書

Ⅰ 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金	次世代育成基金活用事業助成金	442,000
2 その他収入	参加費 団体負担	8,500 928
収入合計		451,428

Ⅱ 支出の部

項目	内容	金額			
		単価	数量	計	
① 助成対象経費				合計	451, 428
(1) 旅費				小計	8, 160
	①ファシリテーター交通費：自宅～会場往復実費2回×5名	8, 160	1	8, 160	
(2) 謝礼				小計	300, 000
	①ファシリテーター謝礼：8, 000円×2回×5名	16, 000	5	80, 000	
	②企画運営・打ち合わせ費：3, 000円×6回×5名	18, 000	5	90, 000	
	③講師謝礼・打ち合わせ費	100, 000	1	100, 000	
	④撮影謝礼：15, 000円×2回×1名	30, 000	1	30, 000	
(3) 印刷費				小計	70, 143
	①参加者募集チラシ・ポスター_印刷費	26, 143	1	26, 143	
	②参加者募集チラシデザイン費（A4・データ納品）	44, 000	1	44, 000	
(4) 物品購入費				小計	58, 395
	①ワークシート・資料印刷インク購入費	7, 260	1	7, 260	
	②消耗品費（文具、名札など）	7, 135	1	7, 135	
	③動画制作費（SNS・YouTube用）	44, 000	1	44, 000	
(5) 役務費				小計	10, 730
	①私立校・都立校チラシ郵送レターパック代（29校分）	370	29	10, 730	
(6) 使用料及び賃借料				小計	4, 000
	①会場利用料・駐車場代（チラシ仕分け）	4, 000	1	4, 000	
(7) その他				小計	
② 助成対象外経費（その他の経費）				合計	
支出合計（総事業経費①＋②）					451, 428